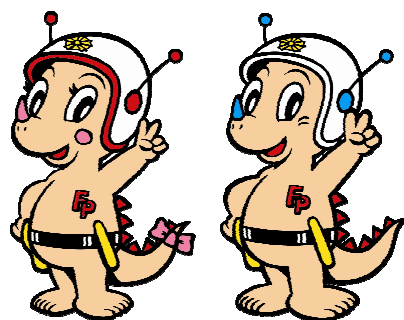


福井県公安委員会 開催概要

令和6年2月20日開催 「定例公安委員会」



会議状況

1 包括的案件

〈報告事項〉

(1) 警戒の空白を生じさせないための組織運営

県警察から警戒の空白を生じさせないための組織運営について報告があった。

委員から「複雑化する社会に合わせて警察にも組織改革が必要である。慢心することなく、現状を見直して安全安心に向けた取組を更に推進していただきたい。」との発言があった。

委員から「縦割りに陥ることなく、柔軟に連携できる組織体制の確立が必要になってくる。改革を推進し、これからの福井県警の道筋を作ってほしい。」との発言があった。

委員から「限られた人員で、これからの福井県を守っていくには組織の変革が必要である。業務の効率化、合理化を推進し、人員の配置の見直しや働きやすい職場作りの取組を一層進めていただきたい。」との発言があった。

(2) 令和5年福井県治安情勢

県警察から令和5年福井県治安情勢について報告があった。

委員から「昨年は交通事故死者数が減少し、統計上、最も少なくなったことや、刑法犯の高い検挙率など、福井県の治安の良さは広く県民に知っていただきたい。」との発言があった。

委員から「子どもや女性が被害者になる犯罪が高止まり傾向ということで不安に感じている。また、新幹線開業により特殊詐欺や薬物犯罪が増加しないか心配である。犯罪防止対策の推進を進めていただきたい。」との発言があった。

委員から「安全で安心な福井は警察の力だけでは実現できない。地域住民や各種関係団体との連携をさらに推進していただきたい。」との発言があった。

(3) 運転免許制度における「一定の病気等が疑われる者」への対応

県警察から運転免許制度における「一定の病気等が疑われる者」への対応について報告があった。

委員から「ご家族からの相談や助言が重要であると思う。広報啓発活動により、安全運転相談ダイヤル等の制度を広く周知願いたい。」との発言があった。

委員から「安全な交通社会の実現のため、様々な対策を推進していただきたい。」との発言があった。

委員から「痛ましい大きな事故をきっかけに、社会が変わっていったと感じる。これからも、総合的な警察活動を通して交通安全対策を進めていただきたい。」との発言があった。

2 個別決裁等

(1) 警察職員等の援助要求の同意

警察職員等の援助要求の同意について説明を受け、これを決裁した。

(2) 令和5年度実地監査の結果

令和5年度実地監査の結果について説明を受け、これを決裁した。

(3) 「福井県警察の組織等に関する規則」の一部改正

「福井県警察の組織等に関する規則」の一部改正について説明を受け、これを決裁した。

(4) 令和5年の被疑者取調べ監督業務の実施状況

令和5年の被疑者取調べ監督業務の実施状況について報告を受け、これを決裁した。